



茨木市立福井小学校

令和5年(2023年)12月20日

福井だより

ふくいからみらいへ

校長 吉田 明弘

福井小学校の学力向上の取り組み

全国学力学習状況調査の結果が9月に公表されました。今年度の結果や平成20年から始まった茨木市の学力・体力向上3か年計画(「プラン22」H20～22、「ステップアッププラン」H23～25、「ジャンプアッププラン」H26～28、「グローイングアッププラン」H29～、「プランネクスト5.0」R2～)に基づいた本校の学力向上の取り組みの一部を紹介します。

本校のHPにも掲載しています。

◎全国学力学習状況調査の結果

◇国語

【領域ごと】

①言葉の特徴や使い方に関する事項

⇒概ね良好な結果であった

②情報の扱い方に関する事項

⇒概ね良好な結果であった

③話すこと・聞くこと

⇒やや課題が残る結果であった

④書くこと

⇒概ね良好な結果であった

⑤読むこと

⇒やや課題が残る結果であった



【問題形式】

①選択式 やや課題が残る結果であった

②短答式 概ね良好な結果であった

③記述式 やや課題が残る結果であった

【無回答率】

概ね良好な結果であった

◇算数

【領域ごと】

①数と計算

⇒概ね良好な結果であった

②図形

⇒概ね良好な結果であった

③変化と関係

⇒概ね良好な結果であった

④データの活用

⇒概ね良好な結果であった

【問題形式別】

①選択式 やや課題が残る結果であった

②短答式 概ね良好な結果であった

③記述式 概ね良好な結果であった

【無回答率】

概ね良好な結果であった

【福井小学校経年比較】

・今年度の平均正答率は昨年度よりやや低い結果となった。全国平均を少し下回っている。

・ここ4年の平均正答率を見ると、全国平均を下回る結果が続いている。

・無答率はここ数年で最も高い結果となった。しかし、算数の無回答率は国語に比べて低く、ほとんどの項目が概ね良好な結果となった。あきらめずに取り組む姿勢が見られ、少人数での習熟度別指導でいていないに支援してきたことへの成果が見られる。



福井小学校の学力向上のための取り組み

◎朝の時間の活用

1時間目が始まる前の15分間を利用して、以下の取り組みをしています。(木・金…3～6年はモジュール学習)

・読書タイム…穏やかな気持ちで1週間の始まりを迎え、「読む力」を育むために月曜日に実施しています。

読書ノート運動にも取り組んでいます。今年度前期に、50冊達成した児童(5年生)がいます。

・算数タイム…3～6年生は、朝会のない火曜日に既習の知識を使った活用問題を、1・2年生は毎週水曜日に基本的な計算練習に取り組み、集中力を高めています。

・ことばタイム(1・2年)…国語の基礎学力向上のため、漢字やことばの学習をしています。

◎算数パワーアップ教室(休み時間、放課後の活用)

担任や少人数指導担当教員、学習サポーターが、連携して児童の状況に合わせて、個別に指導しています。

学習サポーター(図書館担当)が読み聞かせをしています。

◎漢字検定

漢字検定は、毎学期(2学期12/6)、事前学習を行った後にテスト(3年生以上50問、2年生25問、1年生20問)を行っています。

◎言語力…国語の授業を中心にして、国語辞典やプリントを活用して向上に取り組んでいます。

◎算数チャレンジ…主に2・3年生を対象にして数概念

に対する流暢性を高めるため、大小比較、穴あきの数列、四則計算のプリントを1日1分間ずつ取り組んでいます。そのようすから算数の基礎におけるつまずきを把握・分析して、児童への個別の手立てや支援を考えています。



◎北中学校区としての取り組み

- ・生活リズム名人…基礎学力の向上には、基本的な生活習慣の確立が基礎になると考えて、長期の休み明けに合わせて年間3回実施しています。
- ・北中学校区（1中3小）で全員参加の授業研究会（今年度は1/19会場北中学校）を行っています。

◎教員の授業力の向上

- 学力の向上を目指すに当たっては、教員の授業力向上が重要な役割を果たします。今回の全国学力学習状況調査結果についても、その内容を丁寧に分析し、思考力を高めるための授業作りに取り組んでいます。
- ・今年度は、「言語力（表現力）を育むための授業づくり」を校内のメインの研究テーマにしています。講師を招いて研修会を行い、全教員が公開授業をしています。
 - ・自主研修会…教員が、自主的に自らの研究教科の指導法を伝える研修会を開催しています。
 - ・各教員が少なくとも年に1回は、北中学校区以外の授業研究会に出席しています。

茨木市の学力向上計画では、保幼小中間の連携を重視しています。中学校区として保育所・幼稚園から小学校への進学、小学校から中学校への進学がスムーズに進むように様々な取り組み（体験入学、中学校教員による外国語の授業など）をしています。

◎事務の共同実施

北中学校区や北ブロック（北中校区+北陵中校区＝茨木北室）の事務職員が協働・連携することで、学校事務の専門性の向上・効率化を図っています。その結果として教員の事務負担軽減を行い、子どもと向き合える時間を増やすことで、教育活動の充実につなげています。

☆作文の紹介

太秦映画村たのしかった

五年

「やばい、こわすぎる。」
お化け屋敷に入った瞬間、ぼくはこう叫びました。
「おなかすいた」
その後どんどん奥に進んで行ったら、ぼくの声もきえていきました。
その次の日、パソコンで調べると日本の中で二番目にこわいお化け屋敷と知ったので、体がびくつとなりました。
お昼になって、ごはんの時にまりました。
お弁当には、えびフライ、ささみ、たまご焼き、ブロッコリー、おにぎりが入っていました。食べたらついついさけびました。
「うまっ。やっぱりお母さんのごはんが一番うまい。」
と言いました。すると、〇〇が
「当たり前やん。」
と言って、二人で顔を見合わせました。

「ジョン万次郎が教えてくれたこと」

六年

「ナイスミートウー。」と言われ、「内密っ！」と返していた人が、今でも愛され、日本とアメリカの間に立ってくれ、今も影響を与えている人物だとは、最初思ってもいませんでした、
まず、私が万次郎に感心したところの一つ目は、初めて見たアメリカ人のことを信じたことです。私だったら見ず知らずの人のことを信じられません。しかも、言葉もわからない、違う国の人です。ですが、万次郎は英語をがんばって理解しようとしていました。ネームという言葉の意味が分かった場面では、本当にすごいなと思いました。意味が理解できたのは、万次郎が船長たちを信じていたからだと思います。人のことを信じるのが大切だと、万次郎が教えてくれました。
二つ目は鎖国していた日本に帰ったことです。日本は外国との交流を禁止していたのに、「日本に帰ってどうするの。最悪殺されてしますかもよ。」と思っていました。でも、万次郎は自分のことよりも、日本とアメリカを仲良くさせたいという夢をもって、日本に帰ったところがすごかった良かったです。この時、万次郎は私に夢をあきらめない勇気を教えてくれました。
私は万次郎が教えてくれた「信じること・夢をあきらめない勇気」にすごく感動しました。万次郎が私に教えてくれたことをむだにしないよう、生きていきたいです。

